

決算の内容が分かりにくい・・・



月収30万円の「大野さん」の家計簿で例えてみましょう。



大野さんちの令和3年度決算

大野市の令和3年度一般会計決算（歳入約204億円、歳出約194億円）を、月収30万円（年収360万円）の「大野さん」の家庭に例えて家計簿を作りました。

なお、参考として記載した前年度（令和2年度：歳入約248億円、歳出約239億円）の金額は、令和3年度の決算額を月収30万円とした場合に、いくらになるかを計算し、比較対象としました。

○大野さんちの1ヶ月あたりの収入

項目	金額（円）	前年度（参考）	
給料	↑ 66,800	66,400	（市税、使用料、手数料など）
親からの援助	↓ 203,300	244,300	（地方交付税、国県補助金など）
貯金の引出し	↓ 4,800	13,700	（基金繰入金など）
借金	↓ 11,800	28,100	（市債）
前月からの繰越金	↑ 13,300	13,100	（繰越金）
合計	↓ 300,000	365,600	

前年度と比べて、「給料」「前月からの繰越金」が増えましたが、「親からの援助」などが減り、全体的には約18%収入が減少しました。

収入の2/3を占める「親からの援助」は、親（=国・県）の経済状況等に左右されます。令和2年度に特別定額給付金給付事業を実施したため、令和3年度は親からの援助が減少しています。市税などの自主財源を確保するためには、企業誘致や地域産業振興などの取組みによる税収増加のほか、使用料・手数料の適正化など、社会経済情勢の変化などをふまえた見直しが必要です。

かめじろうの
財政診断



○大野さんちの1ヶ月あたりの支出

項目	金額 (円)	前年度 (参考)	
食費	↑ 48,800	47,300	(人件費)
医療費など	↑ 56,300	47,800	(扶助費)
日用品・光熱水費	↑ 43,200	43,100	(物件費)
修繕・修理代	↑ 17,000	14,500	(維持補修費)
子への仕送り	↓ 56,300	106,300	(繰出金、補助費等など)
借金の返済	↓ 22,100	23,000	(公債費)
家の増改築など	↓ 23,000	56,600	(普通建設事業、災害復旧費)
貯金	↑ 19,200	13,800	(積立金)
合計	↓ 285,900	352,400	

令和2年度の「子への仕送り」には、特別定額給付金の費用が含まれているため、前年度と比べて大きく減少しています。「家の増改築など」も減少したため、全体では約19%支出額が減少しました。

過去10年間程度の決算を見ると、人件費や公債費は横ばいですが、扶助費、物件費、補助費等などは増加傾向にあります。扶助費は児童・高齢者・障がい者・生活困窮者などへの支援に要する経費で、繰出金や補助費等にも同様の経費を多く含んでおり、こうした社会保障関係経費は今後も増加傾向が続くものと予想されます。しかしながら、こうした経費はその性質上削減が困難なため、全体的な事業や業務内容の見直しに一層努め、健全で柔軟な財政運営を図っていくことが必要です。

かめじろうの
財政診断



○大野さんちの借金と貯金 (令和3年度決算額を年収360万円とした場合)

項目	金額 (円)	前年度 (参考)
借金	↓ 2,253,400	2,370,200
貯金	↑ 924,000	748,500

借金は年収の約6割、貯金は前年度より増え、月収の約3か月分となっています。今後も、借金を抑え貯金を増やしたいところです。

※一般会計に係る令和3年度現在高